

やすまるがわ

ずかん

安産川おさかな図鑑

やすまるがわ

せいそく

安産川で生息している（見ることが出来る）

ぎょるい いきもの

魚類と生物たち

トミヨ（はりんこ）は石川県の天然記念物及び指定希少野生動植物種に指定されています。
観察以外の捕獲はやめましょう！

<p>トミヨ（はりんこ）：トゲウオ科 全長約6cm</p> <p>巣を作り、子育てをもする貴重な淡水魚。石川県の天然記念物。安産川は日本の生息域の南限。地下水の湧き出ている場所にしか生息出来ない。メダカ・アユと同じ1年魚です。</p> 	<p>ウグイ：コイ科 全長約25cm</p> <p>安産川でもっとも多く生息する魚。主に下流域に多くいます。雑食性で藻類・水生昆虫・落下昆虫などなんでも食べます。手取川から遡上してくる。</p> 
<p>ギンブナ：コイ科 全長約25cm</p> <p>主に淀みや深みに住んでいて、雑食性。雄がいなくても繁殖できる性質を持っている。水生生物やコケ、動物プランクトンなどいろいろなものを食べます。</p> 	<p>ドンコ：ハゼ科 全長約20cm</p> <p>夜行性で生きたものしか食べない動物食で、グズとも呼ばれている。体は黒っぽく、黒い横紋があります。ホホにうろこがあるのが特徴であり動きが鈍いが気が荒い。</p> 
<p>ドジョウ：ドジョウ科 全長12cm</p> <p>日本全国に分布します。ただし、北海道と琉球列島は移植の可能性が高いと言われています。砂や泥のある場所を好み、雑食性。最近の安産川では大きなものが増えてきたようすです。本来は川の本流よりも、支流や水田・水路に多く見られます。ヒゲは10本。</p> 	<p>ウキゴリ：ハゼ科 全長約10cm</p> <p>シマウキゴリ・スミウキゴリと種類があり特に幼魚は区別がむずかしい。動物食で水生昆虫や甲殻類など食べます。「浮くゴリ」と呼ばれるように、他のハゼ類が水底に着くようにして生活しているのに対し、水底より少し浮かんでいることが多い。</p> 
<p>ナマズ：ナマズ科 全長約60cm</p> <p>主に夜間に行動し、かなりの量の餌を食します。水面近くに泳ぐ小魚やカエルなどを下からパクリと食べてしまいます。安産川では主に下流に生息する。</p> 	<p>アユ：キュウリウオ科 全長約25cm</p> <p>春から秋にかけての若魚期から成魚期を川で過ごします。石に付着する藻類を食べる。手取川から遡上してくる。</p> 

メダカ：メダカ科 全長約4cm

日本国内の地方名が3,000を超えると言われるほど馴染みの深い魚です。近年では美川周辺ではほとんど見られなくなりました。川と水路が田んぼに直接つながらなくなったことが原因と思われます。



オイカワ：コイ科 全長約15cm

アユの放流と一緒に琵琶湖から移入された魚。県内ではすっかり定着した魚になったが、安産川ではまだ少ない。



タイリクバラタナゴ：コイ科 全長約7cm

アジア大陸東部と台湾が原産ですが、今では日本全国に分布している。昭和20年頃に、ソウギョやハクレンといった魚とともに日本に入ってきました。3月から9月ころに、マツカサガイやドブガイなどの二枚貝にたまごを生みつけます。



トウヨシノボリ：ハゼ科 全長約7cm

雑食性で水生昆虫の幼虫などを好んで食べる。中流から下流に生息している。ほほの朱色の斑紋が目立つ特徴です。体側に6~7個の横班がつながって並ぶ。産卵期には腹部が青くなる。



コイ：コイ科 全長約70cm

カワナナ・タニシなどの貝類、イトミミズ、カの幼虫などを食べる雑食性。流れの緩やかな場所を好む。手取川から上がってくるものと思われ、安産川では下流域のみに生息する。



モクズガニ：イワガニ科 全長約25cm

はさみや足に長い毛が密生していて暗褐色で泥と同じ色のため、水中では見つけづらい。夜行性のため夜間では頻繁に見つかるが、昼間はあまり見られません。親カニは、成熟すると川を下り河口から沿岸付近で産卵します。



アメリカザリガニ：ザリガニ科 全長約20cm

昭和5年、北米ミシシッピー川から食用ガエルのエサとして輸入されたものが逃げ出して、北海道をのぞく国内全域に広がったと言われています。河川、池、水田など、流れの少ない泥底のところに広く分布しています。



カワナナ：カワナナ科 全長約3cm

カワナナは卵胎生で、親から産み出された時にすでに貝殻を身につけています。生まれたばかりの稚貝は1~2ミリほどの大きさです。ホタルを殖やすには、そのえさとなるカワナナがよく育ち、稚貝がたくさん生まれるように、河川をきれいにし、川にゴミを捨てないなどの条件整備に力を注ぐことが大切です。



ヨコエビ：ヨコエビ科 全長約1.5cm

甲殻でおおわれ、頭部に2本の触角をもつ。海・川・湖に広く生息し比較的どこでも見ることができるが、安産川のヨコエビはホクリクヨコエビと呼ばれ水温の低いきれいな水を好む。安産川では数多く生息していてトミヨの格好のエサとなっている。



イソコツブムシ：ミズムシ科 全長約7ミリ

陸にいるダンゴムシに似て、体を丸めることができる。砂まじりの川底や石の間にいる。海水の少し混じった汽水域にもすんでいる。安産川ではトミヨのエサになっている。



水生植物では、ナガエミクリ・エビモ・ホザキノフサモ・ヤナギモ・バイカモ・コカナダモなどが生息しています。この内バイカモは絶滅寸前、コカナダモは外来種で増え続け、その他は絶滅危惧種です。

メモ